

- 問1 江戸時代後期に現れた、大地主や商人が仕事を設け、そこに多くの従業員を一箇所に集めて、それぞれが異なる工程を受け持つ「分業」によって製品を効率的に作る生産形態を何といいますか。 （2023年 熊本県公立入試 類似）
1. 工場制手工業（マニユファクチュア）      2. 機械工業      3. 問屋制家内工業      4. 家内制手工業
- 問2 徳川吉宗が長崎貿易の立て直しを図る際、金や銀の海外流出を抑えるための代わりの輸出品として、いりこ・干しあわび・ふかひれなどの海産物の生産が奨励されました。これらを依に詰めて輸出したことから何と呼びますか。 （2018年 沖縄県公立入試 類似）
1. 生糸      2. 朱印状      3. 蔵物      4. 俵物
- 問3 江戸時代の対外関係において、長崎の出島に來航したオランダ船の商館長に対し、幕府が提出を命じた海外情勢に関する報告書を何と呼びますか。 （2019年 奈良県公立入試 類似）
1. オランダ風説書      2. 解体新書      3. 通航一覧      4. 外交文書
- 問4 産業革命によってもたらされた生産様式の変化について、その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれか。 （2017年 岡山県公立入試 類似）
1. 熟練した職人の手作業による工場制手工業から、機械を利用した大規模な工場制大工業へと移行した。      2. 農村での自給自足を基盤とした家庭内での生産から、問屋が原料を貸し付ける問屋制家内工業へと移行した。      3. 動力源を水車から電力へと直接移行させたことで、小規模な作業場での精密機器生産が主流となった。      4. 政府が直接運営する官営工場が中心となり、民間の手作業による生産はすべて禁止された。
- 問5 江戸時代後期の北方探査に関連して、間宮林蔵が行った活動とその歴史的背景についての説明として正しいものを次の中から選びなさい。 （2020年 和歌山県公立入試 類似）
1. 択捉島に「大日本恵登呂府」の柱を立て、千島列島が日本領であることを示した。      2. 長崎に來航したレザノフと交渉し、北方での貿易許可を与えた。      3. 伊能忠敬から測量技術を学び、調査によって樺太が島であることを突き止めた。      4. 日本全国の沿岸を実際に歩いて測量し、精巧な日本地図である「大日本沿海輿地全図」を完成させた。
- 問6 江戸時代に十返舎一九が著した『東海道中膝栗毛』が、当時の庶民に広く受け入れられ、旅や観光への関心を高めた背景として最も適切な説明はどれですか。 （2022年 山口県公立入試 類似）
1. 鎖国体制の影響で海外への関心が途絶えたため、幕府が奨励した国学の研究を目的とする全国調査の旅が一般化したため。      2. 五街道の整備や宿場町の発展により、交通の利便性が向上し、庶民が社寺参詣や観光を目的とした旅を行える環境が整っていたため。      3. 享保の改革によって武士の参勤交代が廃止され、空いた宿場を庶民が安価に利用できるようになったため。      4. 西洋から伝わった蘭学の知識を広めるために、日本各地の薬草や地質を調査する実用的なガイドブックとして活用されたため。
- 問7 江戸時代後半、幕府の命令によって作成された「大日本沿海輿地全図」は、海岸線などの地形が現代の地図と比較しても非常に正確に描写されています。この精密な日本地図を完成させるため、日本全国を実際に歩いて測量した人物は誰ですか。 （2015年 岡山県公立入試 類似）
1. 伊能忠敬      2. 狩野永徳      3. 黒田清輝      4. 杉田玄白
- 問8 江戸時代の大阪は、全国から多くの物資が集まる流通の中心地として「天下の台所」と呼ばれました。1700年代初頭の統計によれば、大阪へ運び込まれた商品のうち、菜種や材木、肥料用の千鰯（ちいわし）などを抑えて、取引額が圧倒的に第1位であった品物は何ですか。 （2026年 愛知県公立入試 類似）
1. 大豆      2. 生糸      3. 米      4. 綿布
- 問9 江戸幕府が大名を統制するために出した法令の内容として、「文武弓馬の道、専ら相嗜むべき事」という学問や武芸への専念を求める条文や、城の構築禁止、許可のない婚姻の禁止などを定めたものの名称として正しいものはどれですか。 （2024年 和歌山県公立入試 類似）
1. 禁中並公家諸法度      2. 武家諸法度      3. 土農工商の法      4. 御成敗式目
- 問10 豊臣秀吉による朝鮮侵略（文禄・慶長の役）によって断絶した日本と朝鮮の国交について、江戸幕府が対馬藩を仲介として行った対応と、その後の使節の派遣について述べた文として正しいものはどれか。 （2018年 茨城県公立入試 類似）
1. 薩摩藩の軍事力を背景に国交を強制し、謝恩使や慶賀使として大規模な使節団を江戸へ送らせた。      2. 長崎の出島を窓口として貿易を再開し、將軍の命令があるたびに朝鮮から使節が來日する体制を整えた。      3. 対馬藩の仲介により国交を回復し、將軍の代替わりなどの慶事に際して朝鮮から「朝鮮通信使」が派遣されるようになった。      4. 琉球王国を通じて外交交渉を行い、貿易の利益を分配するために定期的に使節が派遣されるようになった。
- 問11 18世紀後半以降の藩政改革について述べた文として、当時の状況に合致する適切なものはどれですか。なお、当時の資料には、藩の経済状況を改善するために、藩独自の紙幣を発行したり、武士への支給を減らしたりした記録が残されています。 （2015年 岐阜県公立入試 類似）
1. 市場の関所を撤廃して誰でも自由に商売ができるようにし、商人の税を免除することで領内の流通を活発にした。      2. 藩独自の紙幣である藩札を発行したり、家臣に与える俸禄を削減したりして、支出を抑えつつ財政を補った。      3. 外国との貿易を藩が直接行うことで利益を得るため、長崎の出島を藩の直轄地として管理した。      4. 参勤交代の江戸滞在期間を半分にすると代わりに、藩から幕府へ米を献上させる制度を導入して財政を改善した。
- 問12 歴史上の重要人物が行った政治や対外政策の背景・目的について述べた文として、正しいものはどれですか。 （2019年 岩手県公立入試 類似）
1. 足利義満は、平安時代末期に武士の地位を確立するため、大輪田泊を修築して中国の明との貿易を独占した。      2. 桓武天皇は、奈良の寺院勢力の影響を断ち切り、天皇中心の政治を立て直すために、平安京への遷都を断行した。      3. 平清盛は、室町幕府の権威を高めるために、倭寇を区別する勘合を用いた貿易を中国の宋との間で開始した。      4. 徳川吉宗は、戦国時代の混乱を収束させるために、新しい都での政治を開始し、質素儉約を旨とする享保の改革を行った。
- 問13 江戸幕府が平戸に置かれていたオランダ商館を長崎の出島へ移転させ、貿易活動を厳しく制限した理由として適切なものを選びなさい。 （2025年 徳島県公立入試 類似）
1. キリスト教の広まりを防ぐとともに、幕府による貿易統制を強化するため。      2. 平戸の港が狭く、大型の貿易船が寄港できなくなったため。      3. 清（中国）との貿易とオランダ貿易を一箇所に統合するため。      4. オランダ側から長崎への商館移転を強く要望されたため。